

高野新聞

Vol.115



たかの
高野たけし

無所属 50歳

逗子市議会議員（6期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・都市計画審議会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を踏まえて行った令和4年第4回定例会における一般質問の一部をご報告いたします。

市独自の妊活サポート体制の確立を！

今年の4月から不妊治療が保険適用となり、治療を受ける方の財政負担が大幅に軽減されることになりました。それに伴い、神奈川県ではこれまで行ってきた特定不妊治療費助成制度を廃止することに。逗子市では平成24年度に特定不妊治療に対する助成制度を開始しましたが、神奈川県の助成制度を受けられた方を対象に上乘せする形で進めてきたため、県と市の申請期間が終わる令和5年度中には対象者がいなくなることとなります。妊活を応援していこうとする社会状況、また本市の事業実績から鑑みても何らかの形で不妊治療に対する助成制度を維持していくよう提言したところ、市長からは高額な治療費がかかる「生殖補助医療」の部分に対して新たなサポート体制を構築していきたいとの答弁があったところです。

また、財政対策プログラムにより休止となっている不育症治療費助成制度の今後の扱いについても質したところ、来年度からの再開を目指していく旨の回答が担当部長よりありました。

自身の経験も踏まえ、様々な形で妊活をサポートしていきたいよう、引き続き行政当局と連携しながら進めていきたいと考えています。

政治資金の残り **43,250円**

（令和4年9月～11月の内訳）

収入…給与から	150,000円
支出…ポスター作成	154,000円

民間委託等ロードマップ・今後の展開は？

事業の効率化を目的に進めている「民間委託等ロードマップ」も3期目に入っています。現行のスケジュールでは最終年度が令和4年度となっていますが、当初想定していた方向に上手く移行できていない事業も見受けられます。現在ペンディングとなっているものも含め今後民間委託をどのように展開していくのか質したところ、計画通りに移行できていないものに関しては施設の運営内容等を見直した上で、来年度からはじまる第4期ロードマップに則って進めていきたいとの考えが市長より示されたところです。

市民ニーズに合致するためのチェック機能が必須！

市民に対して補助・助成している事業、例えば、生ごみ処理容器の購入金額に応じた額を助成する「生ごみ処理容器等購入費助成事業」、シンボルツリーや生垣用の樹木の配布を行っている「緑化推進事業」、充放電設備等にかかる購入経費の一部を助成する「カーボンニュートラル推進事業」など、当該事業を進めてきた結果どのような効果を得られているのか、事業開始後も定期的にチェックしていく必要があると考えます。市民のニーズに合っているのか、行政が求めた成果が出ているのか、事業の規模や内容等が時流にあったものとなっているのか見直す機会を設けるべき旨提案したところ、担当部長からは然るべきタイミングでチェックしながら市民にとっての有効性を維持していきたいとの回答がありました。

対象年齢を18歳まで拡大

小児医療費の助成制度は、これまで0歳～中学校3年生(1歳以上は所得制限あり)が対象でしたが、令和5年4月1日より18歳の誕生日に達した日以降の最初の3月31日まで拡大することになりました。合わせて0歳～18歳までの所得制限も撤廃されることに。

子育て世代の経済的負担軽減につながる改正になりますが、一方で医療費の増加も懸念されることから、併せて健康施策を拡充していくことも重要であると考えています。



発熱外来診療期間を延長

逗葉地域医療センターにおいて行っていた休日・夜間の発熱外来診療を令和5年3月31日まで延長することに。月曜日から土曜日は20時～23時、日曜日・祝日は12時～17時及び20時～23時までとなります。

受診する場合には予約が必要となりますので、事前に電話連絡をしてから訪問してください。

※逗葉地域医療センター 046-873-7752



ボックスランチ方式から食缶方式へ移行

9月21日から市立中学校で食缶方式の給食が始まりました。ご飯や汁物、おかずなどは温かい状態で、サラダや和え物は適温での提供ができるように。また、これまでのボックスランチ方式では困難であったアレルギー対応も可能になりました。

初日に視察させて頂いた逗子中学校の生徒たちからは、とても美味しく大満足との声も数多く聞かれ、様々な課題を乗り越え移行できたことを嬉しく思う時間となりました。



住み続けたい街ランキング4位に

ある不動産会社が発表した【住み続けたい街ランキング2022】の首都圏エリア(東京・神奈川・千葉・埼玉)において、逗子市が4位に選ばれました。今回の調査結果を見ると、自然と生活環境のバランスが取れている自治体が上位にきているのかなと感じます。

これからも住んでいて良かったと思われるよう、自然環境の保全是元より、教育や福祉、インフラ整備など、さまざまな角度からまちづくりを進めていきたいと考えています。

1位	葉山町	神奈川県
2位	鎌倉市	神奈川県
3位	横浜市西区	神奈川県
4位	逗子市	神奈川県
5位	印西市	千葉県
6位	茅ヶ崎市	神奈川県
7位	藤沢市	神奈川県
8位	目黒区	東京都
9位	武蔵野市	東京都
10位	文京区	東京都

あなたの声を高野たけしへ

Tel / Fax:046-871-7368 E-mail:takano_zushi@yahoo.co.jp

高野たけしの活動
ブログはこちらから

